

徳島市地域公共交通 の取り組みについて



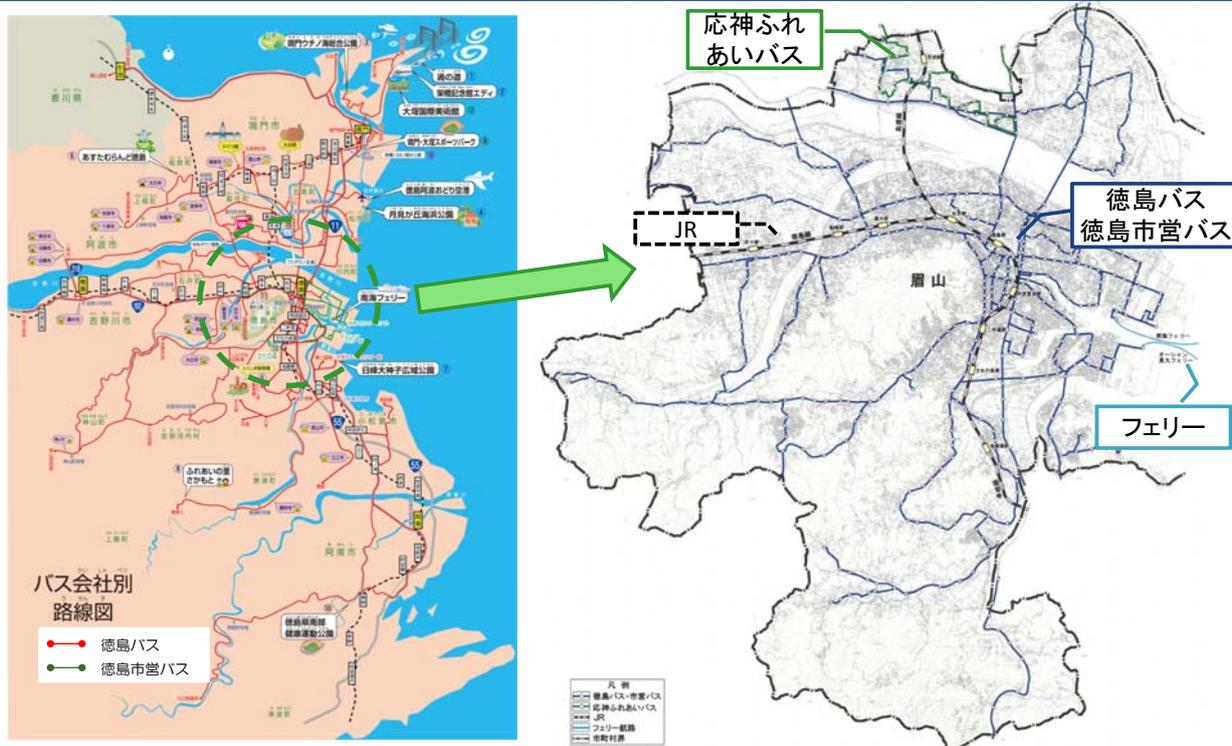
徳島市 都市整備部 まちづくり推進総室 地域交通課

目次

- 1 徳島市における公共交通ネットワーク
- 2 徳島市営バスの利用状況(～平成22年)
- 3 「徳島市バス事業の在り方検討委員会」による答申(H20.7)
- 4 徳島市地域公共交通総合連携計画の策定(H22.3)
- 5 各事業の取り組み状況
- 6 計画の見直し

徳島市における公共交通ネットワーク

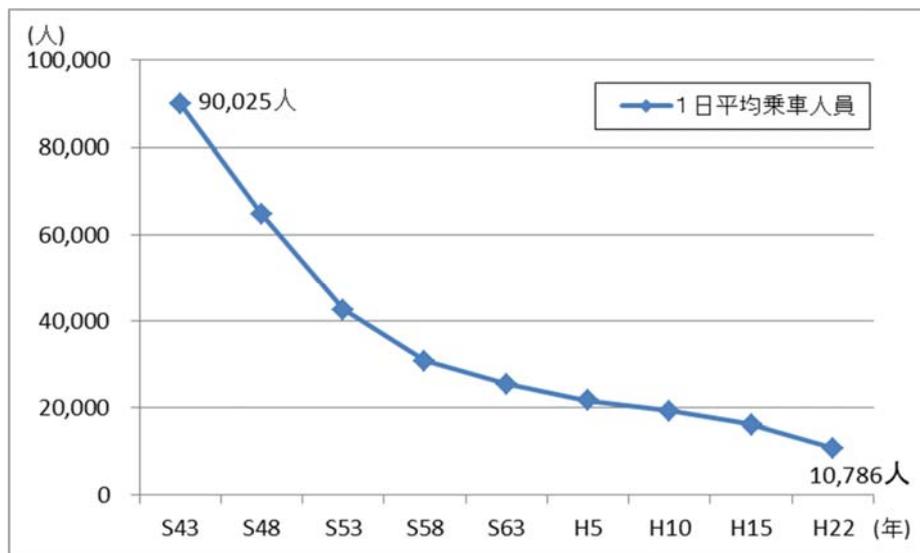
市内を運行中の公共交通機関は、JR(JR徳島線、高德線、牟岐線)、路線バス(徳島市営バス、徳島バス、応神ふれあいバス)、高速バス(JR四国バス、徳島バスなど)、フェリー(南海フェリー、オーシャン東九フェリー)の4種類がある。



2

徳島市営バスの利用状況(～平成22年)

市営バス利用者が減少を続け、公共交通機関による市民の移動手段の確保が課題に。



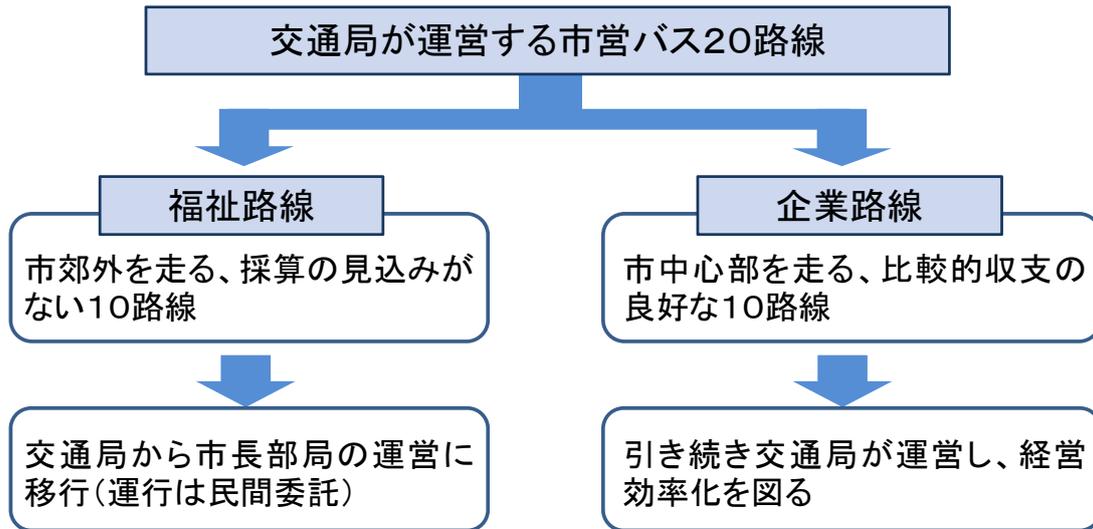
(参考)

平成8年度から平成17年度までの間に、徳島県の路線バス系統が46%減少、徳島市バスの年間走行キロが27.9%減少

3

「徳島市バス事業の在り方検討委員会」による答申（H20.7）

■市営バスの経営改善について



■市内公共交通の再生について

市バスの経営改善だけでなく、地域公共交通全体を対象とした、まちづくりの一環としての計画を策定することで、…(略)…行政、バス・JR・タクシー等の各交通事業者、市民・利用者のそれぞれの立場を十分にふまえたかたちで、市内公共交通の再生を図っていくべきである。

4

徳島市地域公共交通総合連携計画の策定(H22.3)

- 計画期間 平成22年度～平成31年度（10年間）
（平成26年9月に計画の検証、評価）

■基本方針

利用特性・ニーズを踏まえた利便性向上

持続可能で均衡のとれた公共交通ネットワークへの再編

■目標

①利用者特性を踏まえたバスの利便性向上

②PR・情報提供による市民の意識づくり

③運営方法、ルート等の見直しによる経費削減

④地域特性に応じた運行形態の導入

⑤公共交通不便地域の減少

5

各事業の取組状況

(運営方法、ルート等の見直しによる経費削減、地域特性に応じた運行形態の導入)

将来も持続可能なバスネットワークの構築を目指す

福祉路線の民間委託による運行を実施

- ・郊外の大規模な赤字路線(福祉路線)の経費削減を図る
- ・地域の特性や住民ニーズを踏まえ、ルート変更やダイヤ調整等を行う
- ・競合路線の解消を図る

H23.10.1 川内線、宮島線

H25.10.1 不動線、大神子線

H24.10.1 天の原西線、一宮線、17号線

H26.10.1 渋野線、五滝線

移行に伴う取組の例

大神子線

- ・利用の少ない区間を減便し、高齢化の進む大神子団地への乗り入れを増便



乗り入れ増便の式典の様子

渋野線

- ・終点を丈六団地を經由し、丈六寺南まで延伸
- ・沿線にあるとくしま動物園とタイアップした利用促進



動物園ラッピングバス

各事業の取組状況 (利用者特性を踏まえたバスの利便性向上)

(1)競合路線の発車時刻・ルートの調整

新浜線を従来の徳島バス・小松島市営バスとの3者競合区間から単独区間へと路線変更(H23.10.1)



- ・路線の変更により、バス路線の競合状況が1.6km改善し、公共交通の効率化を推進
- ・新浜住宅バス停留所の路線便数は、平日で7便増加、休日で5便増加



(2)既存路線の循環型路線への変更

東部・南部循環線の新設(H23.10.1)



- ・乗り継ぎの解消による時間短縮、運賃の低減により、利便性が向上
- ・関連路線の利用者数が増加し、収支状況が改善



東部循環線バス



南部循環線バス

各事業の取組状況（公共交通不便地域の減少）

(1)川内線・宮島線の移行(循環路線の新設)に伴う新規ルートへの運行

新規ルートの区間

公共交通不便地域の解消

- ・両路線の終点を新規ルートで結び、循環路線の新設
- ・小型ノンストップ車両の導入

川内循環線バス(小型バス)

(2)地域住民によるバス運行をサポート

応神地域の住民が主体となって企画運営する応神ふれあいバスへの支援

8

各事業の取組状況（PR・情報提供による市民の意識づくり）

(1)時刻表、バス路線図等の統一化

- ・移行路線と市営バスとの路線図・時刻表の統一
- ・移行路線と競合する徳島バス路線のバス停の共通化



徳島駅前バス乗り場の様子

(2)中心市街地のイベントとの連携

マチ☆アソビとタイアップしたアニメバスの運行と記念乗車券の販売



アニメラッピングバス

(3)モビリティ・マネジメント等によるバスの情報提供

交通キャンペーンの開催（バスの乗り方教室、お絵描きバス等）



交通キャンペーンの様子

9

計画の見直し

平成26年9月にこれまでの実施状況の検証・評価を行い、計画を見直し、さらなる施策の推進を図る



- ・企業路線を運営する交通局は、経営効率化の一定の成果は見られるが、赤字体質の解消には至っていない
- ・競合路線の解消は、部分的な改善にとどまる状況



企業路線についても民間委託を計画的に実施

10

計画の見直し（企業路線の移行）

中央循環線・南部循環線・山城線の移行(H27.4.1)



11

ありがとうございました。

